

医療連携だより

第18号 平成27年5月

発行

越谷市立病院

医療連携室

越谷市東越谷 10-47-1

電話 048-965-2221

(内線 3135、3114)

FAX 048-965-5222

院長就任にあたって



越谷市立病院
院長 丸木 親

「人口の高齢化に伴い、医療も変わる。この点を本当に医療提供側が自覚して、提供体制を構築しているのか、疑問を感じざるを得ない」。

高齢患者の特性を踏まえ、「治す」医療も大切だが、「支える」「看取る」医療も考え、それに伴い医療提供体制も変化することが求められる。2014年度改定では、7対1入院基本料のハードルを上げるほか、大病院外来の抑制策を講じるなど、入院と外来ともに機能分化を今まで以上に推進する方針が打ち出されたが、その背景にはこうした問題意識があった。さらに今後の方向性について、宇都宮氏は、「診療報酬と補助金(地域医療介護総合確保基金)を車の両輪として提供体制を整えていくことになる」とし、この4月から始まった地域医療構想の策定については、「各地域が自分の頭で考えて、どんな提供体制にするかを考えていかなければいけない」と述べ、「俺が、俺が、ではなく、私の役割はこれ、あなたの役割はこれ」という言葉で形容し、地域のニーズに見合った提供体制の構築に期待を込めた。地域医療構想は医療計画の一部であり、同計画と介護保険事業計画が同時改定となる2018年度が一つの節目になるとした。

私は参加できなかったのですが、先日の京都の医学会総会における、厚生労働省としての今後の医療指針に関する記事をM3の医療維新のコーナーの記事から抜粋させていただきました。

「俺が俺がではなく、私の役割はこれ、あなたの役割はこれ」とは上手い表現です。早く自分の身の丈にあった役割を見つけて地域の医療体制の中で自分の病院、医院の立ち位置を見定めなさいということでしょう。

無駄のない医療体制の供給と、医療と介護福祉の連携が必須、地域が一つの大きな病院、ケアセンターであるということなのでしょう。

このような中、今や各医療機関は前方、後方の医療連携なしには成り立たない時代となりました。これまでは多くの急性期病院がしのぎ合う埼玉東部地域でしたが、自院の役割について今こそ考え直す時がきたように思います。私が市立病院院長を拝命した年に、よりによって今後のこの病院の役割を考えなさいなど本当に災難です。しかし、考えるより行動してみて、どのようなニーズがあるのかということをまずは分析すべきと思いました。それはやはり、救急を中心に、紹介患者を診てゆくことが大前提で、外来機能はかかりつけの医師に逆紹介し、効率の良い入院医療を提供することであると思います。この地域の最大の問題点は、今まで連携体制を構築せず、特に後方連携、介護福祉につなげてゆくためのインフラがなかった点であると思っています。私の専門は脳神経外科ですがこの地域で入院のニーズが高いのは脳卒中でした。たまたま私の専門が脳卒中であったこともありますが、当院に急性期の脳卒中患者をまず受け入れるためのSCUを開設できたことは幸いでした。次は、テレメディシンであると考えています。日本はCTやMRがあっても、専門医が常駐していない施設が多く、例えば東部地区の脳神経系の専門医がいない病院でも、頭部CTやMR画像を当院の当直医や救急担当医に送っていただければ、瞬時に判断できるようなものになりたいと思っており、幸いどの病院も最近ではデジタル化が進み、当院に連絡後にメールで添付ファイルとし写真、動画などをお送りいただければこちらで読影してお返事をしております。今後もさらなる連携強化を推進すべく、市立病院内の医療連携室の機能を高めて参ります。

なお、当院の脳神経遠隔画像診断システムのメールアドレスは nougeka@mhp.koshigaya.saitama.jp です。

院外医療機関からのCT検査受付を開始しました



「患者様にやさしく、低被ばくで質の高いCT検査を！！」

2012年11月より、最新型マルチスライスCT（128スライス）が稼働しました。

このCT装置は、2012年6月に発表された機種で、東日本では1号機（全国でも2番目）として、先駆けて当院に導入しました。

ご依頼はすべて予約制です

- ・電話でのご依頼の際に、ご希望の部位や造影の有無をお伝えください。
- ・内容によっては放射線科担当医の判断で変更させていただくこともございます。
- ・診療情報提供書に症状や疑われる疾患など情報の記載をお願いいたします。

造影検査の注意事項

- (1) 必ず採血で血清クレアチニン値を測定していただき、添付または診療情報提供書に記載をお願いします。添付または記載がなければ、単純での検査とさせていただきます。
- (2) 検査当日の朝食は召し上がらないようにお伝えください。水分は普段より多めにとるように心がけてください。ただし、乳製品は避けてください。
- (3) ビグアイド系糖尿病薬を内服中であれば、検査当日から48時間内服中止を推奨しています。
- (4) 以下の方は造影剤投与禁忌または原則禁忌のため、造影検査は行えません。
 - ① ヨードまたはヨード造影剤の過敏症の既往がある
 - ② 重篤な甲状腺疾患
 - ③ 気管支喘息
 - ④ 重篤な腎障害
 - ⑤ 一般状態が極度に悪い
 - ⑥ 重篤な心障害
 - ⑦ 重篤な肝障害
 - ⑧ マクログロブリン血症
 - ⑨ 多発性骨髄腫
 - ⑩ テタニー
 - ⑪ 褐色細胞腫



予約・問合せ先

医療連携室 048-965-2221(代表) 内線：3135、3114

総合診療医への紹介について

当院へご紹介をいただく際に、不明熱、脱力感などの症状により紹介先の科を何処にするのかでお悩みになることもあるかと思えます。その際には、当院の総合診療医へご紹介ください。なお、紹介状の宛先等は下記のとおりとなりますので、よろしくお願いいたします。

記

- (1) 受入日時 毎週 水曜日・木曜日・金曜日の午前
① 10:00 ② 10:30 ③ 11:00
- (2) 受入定員 各時間枠当たり 1名
- (3) 紹介状宛先 救急科 総合診療医師 あて

※FAXによる診療予約をご利用いただきますが、救急患者も受け入れているため、診療時間がずれる場合があります。

老人ホーム等入居者の当院への受診について

老人ホーム等入居者が当院へ受診の際に、契約医療機関からの紹介状や診療情報提供書等が送付されないケースが見受けられます。患者様の経過等を速やかに把握するためにも、契約医療機関の先生方には紹介状等の作成にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

市立病院研修センター・院内保育室の設置について

市立病院の研修施設として旧しらこぼと職業センターを改修し、市立病院研修センター・院内保育室として整備しました。

研修センターには職員のスキルアップのための講演会・研修会等を行うことができる講堂や、研修医・看護実習生のためのスペース、さらに会議室を設置しています。

また、かねてより市立病院における医師・看護師等の人材確保の観点から医療従事者の定着と復職支援を図ることを目的に院内保育施設を設置しておりましたが、手狭となったため研修センターと同一の建物内に移転しました。



研修センター全景



研修医室



講堂



保育室

越谷市立病院外来担当医表

平成27年5月11日現在

曜日	科別	1 眼科	2 耳鼻科	3 泌尿器科	5 小児科	6 内科 トック	7 皮膚科	8 脳外科	8 神経内科	9 整形外科	10 循環器科	10 呼吸器科	11 産科	11 婦人科	12 内視鏡	13 消化器科	18 外科
曜日内線 受付内線		2232 2231	2166 2164	2268 2293	3208 3212	3200 3205	2151 2150	2157 2155	2156 2155	2161 2159	3204 3206	3203 3206	2274 2271	2277 2271	2242 2242	2240 2239	2238 2235
月		尾羽澤 川守田 交替制	※安齋 (受付10時 まで)	石井	木下 竹内 八田 鈴木	田中 藤田 PM ※福田	上郎 ※清村	丸木	※林	大野 久保田 藤田 向笠	木村 廣瀬	永家	AM 西澤	系賀 AM 北川	佐々木 AM ※箕尾 PM 外科 Dr	福生 AM ※佐藤 PM 石塚	松本
火		予約制	※沖崎 予約制	予約制	田中(翼) 杉田 野村	山中 縄田 PM 交替制	上郎 ※西岡	角田	予約制	酒井 菅原 林	福島 清水	西野	AM 西岡 石大 PM 石黒	須賀 関根	(第1.3) AM ※柏倉 PM ※野原 (第2.4.5) 1日 PM ※柏倉 外科 Dr	中庭 日高	三浦(弘) 武井
水		尾羽澤 川守田 交替制	休診	横田	木下 竹内 田中(沙)	松本 PM 交替制	上郎 ※前田	齋藤	中村 第4週休診	久保田 菅原 林	高木	予約制 永家	AM 北川 産褥外来 PM 大石	系賀 AM 石黒	AM 原田 ※外科 PM 永家	中庭 中山 PM ※原田	方行
木		予約制	※塩澤 (受付10時 まで)	石井	杉田 野村 鈴木	※稲田 PM 交替制	上郎 ※清村	清水	河村	(初診 のみ) 交替制	木村 ※松尾 PM 肺高血圧症	永家	AM 山田 大石	西岡 AM 西澤 PM 山田	中庭 福生	佐々木 日高	※津村
金		川守田	休診	交替制	田中(翼) 田中(沙) 八田	蒔田 松本	上郎 ※豊城	丸木	中村	大野 酒井 藤田 向笠	交替制	星加	AM 石黒	永井 AM 山田	AM 高山 PM 庭生 中福	佐々木 AM ※三浦(匡) PM 中山	森松

※は、パート医師

■耳鼻咽喉科では常勤医が不在となるため、当分の間、入院・手術等の受入を停止しております。